

# 第8回 日本脳ドック学会総会

*The 8th Annual Meeting of Japanese Society  
for  
the Detection of Asymptomatic Brain Disease*

## ●プログラム・抄録集



会長 太田 富雄  
(大阪医科大学脳神経外科)

平成11年6月24日(木)・25日(金)  
ホテル阪急インターナショナル

# 第8回 日本脳ドック学会総会

## ●プログラム・抄録集

会長 太田 富雄

(大阪医科大学脳神経外科)

会 期：平成11年6月24日(木)・25日(金)

会 場：ホテル阪急インターナショナル  
〒530-0013 大阪市北区茶屋町19番19号  
TEL 06-6377-2100 FAX 06-6377-3611

### 評 議 員

朝倉 哲彦	飯沼 武	太田 富雄	大友 英一	大本 堯史
奥寺 利男	片山 泰朗	小林 祥泰	斉藤 勇	櫻井恒太郎
澤田 徹	篠原 幸人	島本 和明	高倉 公朋	高橋 睦正
舘野 之男	田中 隆一	赫 彰郎	東儀 英夫	戸谷 重雄
中川 俊男	中島 健二	端 和夫	早川 徹	福井 仁士
藤島 正敏	藤原 悟	松本 圭蔵	丸山 勝一	宮坂 和男
山口 武典	山田 弘	吉本 高志		

### 幹 事

中川 俊男 藤原 悟

(敬称略：五十音順)

## ご 挨拶

第8回日本脳ドック学会総会を大阪でお世話させていただきますことを、大変光栄に存じます。

1999年という区切りの年に当たります今回の学会では、脳ドックをもう一度見つめ直し、来世紀に向けての脳ドックの在り方が示されるような学会にしたいと考えております。このような観点から演題を募集しましたところ、昨年とほぼ同じ64題の興味ある演題を頂きました。この中から、(1) 脳ドックと人間ドック、(2) 無症候性脳梗塞の頻度とその予後、(3) 脳ドック実施面での問題点、(4) 脳ドックで発見された病変の治療、(5) 脳卒中ハイリスク群の脳ドック、の5つのシンポジウムを組ませて頂きました。

また、脳ドックが我が国に特有のものであるのは、日本人の死生観、宗教観、社会通念などが関係していると思われ、柳田邦男先生に「日本人の健康観・死生観」、脳ドック学会が従来の健康診断的な範疇を越えて、21世紀に向けて大きく飛躍することを願い、Neuroscience 分野の世界の第一人者であられる伊藤正男先生に「脳科学への期待」、そして経済的な面からは、「脳ドックの経済・不経済」と題して田辺 功先生に特別講演をお願いしました。さらにランチョンセミナーとしまして、吉峰俊樹先生に「脳機能の新しい画像診断法：Synthetic aperture magnetometry (SAM)」、教育講演としまして、田邊純嘉先生に「Leukoaraiosisとその本態」、滝沢 修先生に「最新のMR撮像法」をお話し頂きます。ご期待頂きたいと思います。

今回初めての試みと致しまして、医師会講座を学会前日に、市民講座を学会終了後に予定しました。脳ドック学会のさらなる発展のためには、専門医以外の方々への啓蒙が必要不可欠と考えております。医師会講座は大阪府医師会との共催で、市民講座は毎日新聞社の後援で行う予定であります。できるだけ多くの方々にお知らせ頂きますようお願い申し上げます。

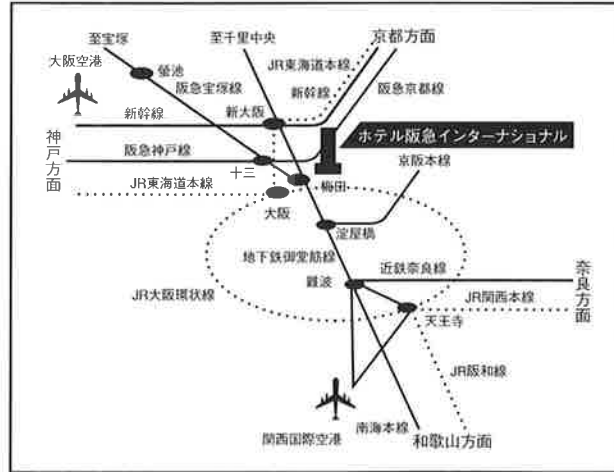
多数の皆様のご参加と活発なご討論をお願い申し上げます。脳ドック学会の益々の発展と、参加された方々が多くの収穫を得られますことを祈念しつつ、ご挨拶の言葉とさせていただきます。

平成11年5月

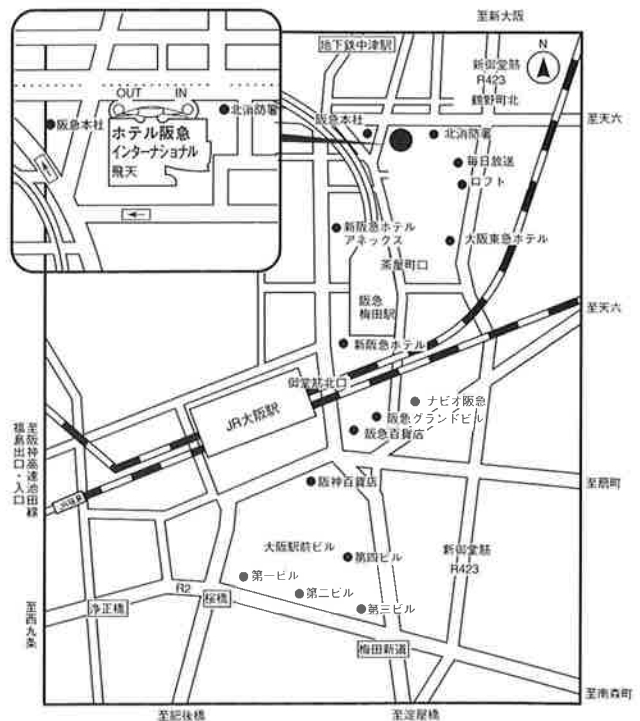
第8回日本脳ドック学会総会  
会長 太田 富雄

# 会場のご案内

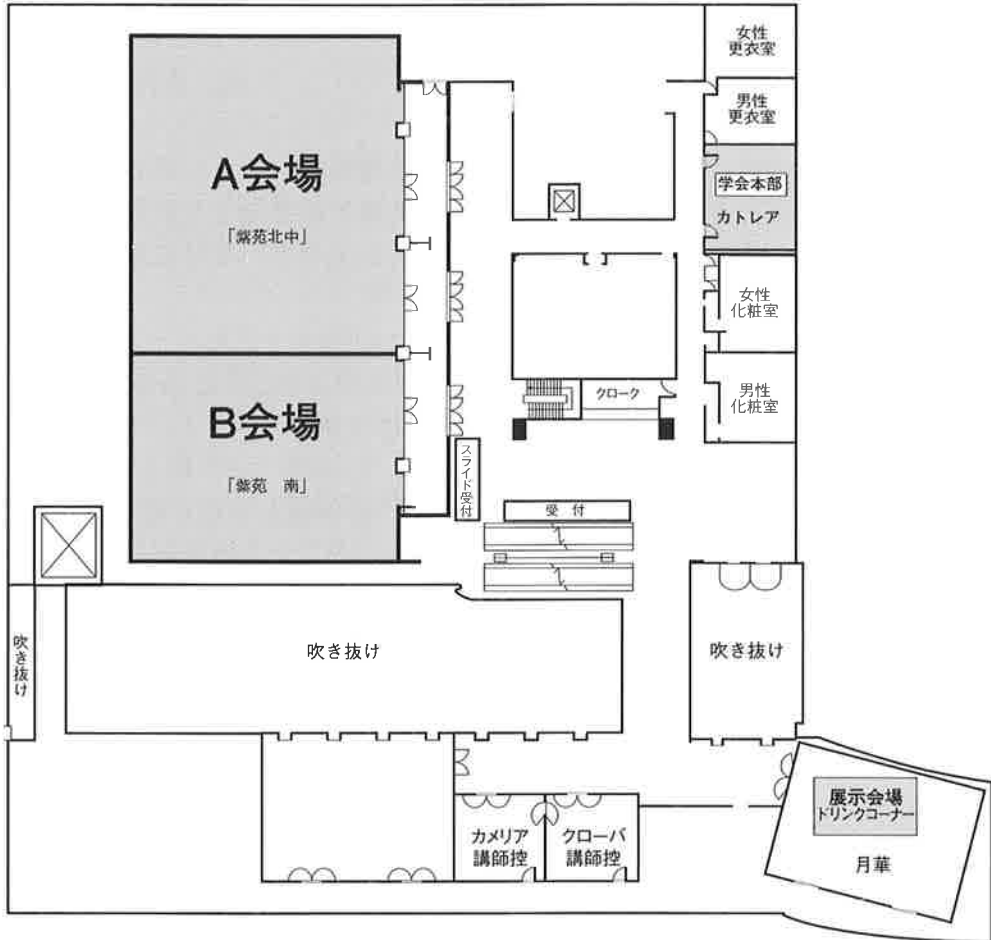
会 場：ホテル阪急インターナショナル  
 大阪市北区茶屋町19番19号  
 TEL 06-6377-2100



- ・電車でお越しになる場合  
 阪急梅田駅茶屋町口よりすぐ  
 JR大阪駅御堂筋口北側より徒歩10分  
 地下鉄中津駅4番出口より徒歩5分
- ・車でお越しになる場合  
 関西国際空港から約70分  
 (夕刻より4便ホテル直行リムジンバス運行)  
 大阪空港から約30分  
 新大阪駅から約10分  
 (時間帯や道路事情により所要時間は異なりますのでご注意ください)



# 会場見取図



# ご 案 内

## 1. 参加者の皆様に

- (1) 参加者受付は6月24日、25日ともに午前8時からホテル阪急インターナショナル4階にて行います。
- (2) 綴込みの参加者カードに所属と氏名をご記入の上、参加費10,000円を添えて参加受付にご提出下さい。引換に名札をお渡ししますので、所属、氏名をご記入の上、会期中は胸にお付けください。
- (3) 脳神経外科学会専門医の方は、本会は日本脳神経外科学会生涯教育クレジットの対象となっておりますので、参加者カードに専門医番号をご記入ください。また、名札の下の切り取り部分にも専門医番号をご記入の上、受付に用意した所定の箱にお入れください。
- (4) 当学会未入会の方は、新入会員受付にて所定の手続きをお取り下さい。
- (5) プログラム・抄録集は当日ご持参ください。ご希望の方には会場にて一部1,000円で販売しますが、数に限りがございますのでご了承ください。

## 2. 演者の皆様に

- (1) スライド受付は当日8時30分より、A会場・B会場ともに4階にて行います。早朝のご発表の方を除き、発表の1時間前までに受付をお済ませ下さい。スライドを所定のスライドホルダーに収め、試写確認の上、係にお渡し下さい。発表終了後スライドは速やかに受領書と引換にお受取り下さい。
- (2) 発表時間は、一般演題6分、シンポジウム8分です。時間の厳守をお願い致します。
- (3) プロジェクターは35mm版2台を用意致します。スライド枚数の制限はありません。スライドの映写は演者がご指示下さい。
- (4) ビデオのご使用はできません。
- (5) 次演者は所定の席でお待ち下さい。
- (6) 円滑な運営のため、質疑、コメントされる方はあらかじめマイクの前で立ち、座長の指示に従って下さい。

## 3. ランチョンセミナー

6月24日、A会場にて行います。ランチが用意されています。(無料)

## 4. 機器展示

学会期間中、4階にて機器展示を行います。各メーカーから最新機器等の展示がありますのでご覧下さい。

## 5. 会員懇親会

6月24日(木) 午後6時よりホテル阪急インターナショナル6階瑞鳥において懇親会を行います。(参加無料)

## 6. 学会事務局

期間中（6月24日・25日）：ホテル阪急インターナショナル  
〒530-0013 大阪市北区茶屋町19番19号  
TEL 06-6377-2100  
FAX 06-6377-3611

期間外：大阪医科大学脳神経外科  
〒569-8686 高槻市大学町2番7号  
TEL：0726-83-1221(2363)  
FAX：0726-83-4064

## サテライト講座

### 1. 医師会講座——日常診療に役立つ脳ドック・産業医のための脳ドック

平成11年6月23日 午後2時—4時：毎日新聞社オーバルホール

日本脳ドック学会・大阪府医師会共催

司会：橋本信夫（京都大学脳神経外科 教授）

#### 1) 脳ドックで見つかる外科的疾患

端 和夫（札幌医科大学脳神経外科 教授）

#### 2) 脳ドックで見つかる内科的疾患

山口武典（国立循環器病センター 院長）

### 2. 市民講座——脳ドックとは？

平成11年6月25日 午後2時—4時30分：毎日新聞社オーバルホール

日本脳ドック学会主催・毎日新聞社後援

司会：太田富雄（大阪医科大学脳神経外科 教授）

#### 1) 脳ドックで行われる検査と発見される病気

中川俊男（新さっぽろ脳神経外科病院 院長）

#### 2) 脳ドックで見つかる外科的疾患

神野哲夫（藤田保健衛生大学脳神経外科 教授）

#### 3) 脳ドックで見つかる内科的疾患

小林祥泰（島根医科大学第三内科 教授）

# 日 程 表

第 1 日目：6 月 24 日(木)

A 会場（4 階紫苑 北中）		B 会場（4 階紫苑 南）	
8 : 55			
	開 会 の 辞		
9 : 00	シンポジウム 1 (A1-4) 脳ドックと人間ドック (座長：山口武典、田中隆一)	9 : 00	無症候性脳梗塞 1 (B1-3) (座長：篠原幸人)
		9 : 27	無症候性脳梗塞 2、他 (B4-6) (座長：藤島正敏)
10 : 00	シンポジウム 2 (A5-9) 無症候性脳梗塞の頻度とその予後 (座長：小林祥泰、大本堯史)	9 : 54	未破裂脳動脈瘤 1 (B7-11) (座長：斎藤 勇)
		10 : 39	未破裂脳動脈瘤 2 (B12-15) (座長：山田 弘)
11 : 15	特別講演 1 日本人の健康観・死生観 柳田邦男 (座長：太田富雄)	11 : 15	
12 : 00	ランチョンセミナー 脳機能の新しい画像診断法： Synthetic aperture magnetometry (SAM) 吉峰俊樹 (座長：貴井英明)		
13 : 00	議 事 総 会		
13 : 30	特別講演 2 脳科学への期待 伊藤正男 (座長：桐野高明)		
14 : 15	脳ドックの現況、黒岩敏彦 (座長：中川俊男)		
14 : 30	シンポジウム 3 (A10-17) 脳ドック実施面での問題点 (座長：端 和夫、今井輝国)	14 : 30	高次脳機能 (B16-21) (座長：橋本信夫)
		15 : 24	検査法 1 (B22-25) (座長：宮坂和男)
16 : 30	教育講演 1 Leukoaraiosis とその本態 田邊純嘉 (座長：松谷雅生)	16 : 00	検査法 2 (B26-28) (座長：藤原 悟)
17 : 00		16 : 27	



第2日目：6月25日(金)

A会場（4階紫苑 北中）		B会場（4階紫苑 南）	
9:00		9:00	
	<p>シンポジウム4（A18-27） 脳ドックで発見された病変の治療 （座長：河瀬 斌、赫 彰郎）</p>		<p>シンポジウム5（B29-37） 脳卒中ハイリスク群の脳ドック （座長：福井仁士、秋口一郎）</p>
11:10	<p>特別講演3 脳ドックの経済・不経済 田辺 功 （座長：児玉南海雄）</p>	11:00	
11:55	<p>教育講演2 最新のMR撮像法 滝沢 修（座長：伊藤治英）</p>		
12:25			
12:30	閉会の辞		

# プログラム

第1日：6月24日(木)

## ●A会場

8：55～9：00

**開会の辞**

会長 太田富雄

9：00～10：00

**シンポジウム1 脳ドックと人間ドック**

座長 山口武典・田中隆一

- A-01) 人間ドックの option として行われる脳ドックの特徴  
虎の門病院 脳神経外科、健康医学センター\*  
○梅津博道、関要次郎、臼井雅昭、吉永英世\*
- A-02) 当施設における脳ドックと人間ドックについて  
中国労災病院 脳神経外科  
○山中千恵、島 健、西田正博、山根冠児、畠山尚志、豊田章宏、  
平松和嗣久
- A-03) 脳ドック受診者の母集団構成員の差異と異常発見の効率  
えびな脳神経クリニック、青森厚生病院 放射線科\*、  
青森県立中央病院 脳神経外科\*\*、弘前大学 医学部 脳神経外科\*\*\*  
○蛭名国彦、畠山 隆\*、田中輝彦\*\*、鈴木重晴\*\*\*
- A-04) 危険因子からみた無症候性脳硬塞；人間ドックと脳ドックの関係  
祐生会みどりヶ丘病院 脳神経外科、大阪医科大学 脳神経外科\*  
○多根一之、出口 潤\*、太田富雄\*

10：00～11：15

**シンポジウム2 無症候性脳梗塞の頻度とその予後**

座長 小林祥泰・大本堯史

- A-05) 脳ドック受診者における脳卒中発症調査（第6報）  
鳥根医科大学 第三内科  
○山下一也、小林祥泰、岡田和悟、須山信夫、土谷治久、白澤 明、  
山口修平

- A-06) 脳ドック受診者における脳卒中発症率の検討  
 —1200例の追跡調査報告（第2報）—  
 慶應義塾大学 脳神経外科、千葉脳神経外科病院\*、赤坂パークビル脳神経外科\*\*  
 ○堀口 崇、吉田一成、佐藤周三、水上公宏\*\*\*、河瀬 斌
- A-07) 無症候性脳内変化症例の危険因子の検討と対策  
 藤枝平成記念病院 Brain Medical Ckeck Up Center  
 ○平井達夫、吉田 守、山田佳孝、山本義介
- A-08) 脳ドック受診者経過観察例におけるリスクファクターと予後に関する検討  
 日本医科大学 第二内科学教室、金内メディカルクリニック\*  
 ○永積 惇、高橋真理子\*、越 泰彦\*、金内秀士\*、三品雅洋、赫 彰郎、  
 片山泰朗
- A-09) 無症候性脳梗塞の経過と血小板放出反応の関連  
 愛知県厚生連海南病院 脳神経外科  
 ○山本直人、棚澤利彦、岡田 健、泉 孝嗣

11：15～12：00

**特別講演 1**

座長 太田富雄

日本人の健康観・死生観

柳田 邦男（作家）

12：00～13：00

**ランチョンセミナー**

座長 貴井英明

脳機能の新しい画像診断法：Synthetic aperture magnetometry (SAM)

吉峰 俊樹（大阪大学医学部 脳神経外科）

13：00～13：30

**議事総会**

13：30～14：15

**特別講演 2**

座長 桐野高明

脳科学への期待

伊藤 正男（理化学研究所 脳科学総合研究センター）

14:15~14:30

**アンケート報告**

座長 中川俊男

脳ドックの現況

黒岩 敏彦 (大阪医科大学 脳神経外科)

14:30~16:30

**シンポジウム 3 脳ドック実施面での問題点**

座長 端 和夫・今井輝国

A-10) 本院脳ドックにおける統計学的検討

—とくに利用状況と病変発見率および実施面での問題点について—

東松山市立市民病院 脳神経外科、内科\*、検診室\*\*

○竹内東太郎、笠原英司、岩崎光芳、松崎正一\*、星野博孝\*\*

A-11) 未破裂脳動脈瘤手術における平均在院日数と cost performance の関係

函館赤十字病院 脳神経外科

○松崎隆幸、嶋崎光哲、臼居礼子、木原光昭

A-12) 脳ドック2000例達成時 follow-up より

黒沢病院 脳神経外科、高崎健康管理センター\*

○岡田慶一、大森重宏、島田祥士、黒沢 功\*

A-13) 脳ドックにおける痴呆初期検診の重要性

浜松医療センター 高齢脳神経科

○金子満雄

A-14) 脳ドック受診者の追跡調査

—最終受診後2年以上受診のない方を対象に—

岐阜県立下呂温泉病院 脳神経外科、岐阜大学 脳神経外科\*

○小谷嘉則、北島英臣、杉本信吾、岩田辰夫、坂井 昇\*

A-15) 一般外来・脳ドックで偶然発見された未破裂脳動脈瘤術後の患者さんへのアンケート調査

磯部クリニック、深谷赤十字病院\*

○磯部逸夫、鶴田邦彦、青木邦夫、野島敏江、神田真司\*、掛川 徹\*

A-16) 脳ドック、痴呆予防ドックの際のインフォームド・コンセント

津生協病院 脳神経外科・健診センター

○笠間 睦、和田憲子、久世道子

A-17) 予防的外科治療により不幸な転帰を来した患者・家族の心情と実情に関する  
アンケート調査報告

医療法人 上島内科医院分院

○山口研一郎

16:30~17:00

**教育講演 1**

座長 松谷雅生

Leukoaraiosis とその本態

田邊 純嘉 (札幌医科大学 脳神経外科)

## ● B会場

9:00~9:27

### 無症候性脳硬塞 1

座長 篠原幸人

- B-01) 無症候性大脳深部白質障害における脳循環自動調節能障害について  
島根医科大学 第三内科  
○飯島献一、須山信夫、小林祥泰、山口修平、山下一也、白澤 明
- B-02) 1600例の基底核、深部白質の変化について  
北村クリニック  
○北村純司
- B-03) etat crible と脳梗塞の関係について  
北村クリニック  
○北村純司

9:27~9:54

### 無症候性脳硬塞 2、他

座長 藤島正敏

- B-04) 脳ドック患者における無症候性脳梗塞と無症候性脳萎縮についての検討  
啜生会脳神経外科病院 脳神経外科  
○山田圭一、川田祥子、西村進一、吉川幸弘
- B-05) 当院における脳ドック 5年5ヶ月間のまとめ  
西宮市立中央病院 脳神経外科  
○本崎孝彦、小山 隆
- B-06) 各種虚血性脳血管障害とApolipoprotein E遺伝子  
東海大学 神経内科、山中湖クリニック\*、東海大学 分子生命科学 1  
○関山西里、立川 浩、高橋若生\*、津田道雄\*、篠原幸人

9:54~10:39

### 未破裂動脈瘤 1

座長 斎藤 勇

- B-07) 脳ドックで発見された未破裂脳動脈瘤についての検討  
秋田県立脳血管研究センター 脳神経外科  
○黒崎みのり、安井信之、波出石弘、野々山裕
- B-08) 未破裂脳動脈瘤の治療成績の検討  
おさか脳神経外科病院  
○黒岩輝壮、井上洋人、浮田 透、永野雄三、苧坂邦彦

- B-09) MRAにおける未破裂脳動脈瘤判定の Pit Hole  
 医療法人徳寿会 相模原中央病院 脳神経外科  
 ○中野次郎、山下晃平、吉田 浩、長尾建樹、坂田義人、中野重徳
- B-10) 未破裂脳動脈瘤症例における Stress 緩和をめざして  
 (財)脳神経疾患研究所 附属総合南東北病院  
 附属福島医療クリニック 脳神経外科  
 ○笹沼仁一、仲野雅幸、浅利 潤、渡辺一夫
- B-11) 未破裂動脈瘤診断後の follow up について  
 城山病院 脳・脊髄外科センター 脳神経外科  
 ○住岡真也、田辺英紀、香月修二、松川雅則、小川大二、奥田泰章、  
 黒田雄三

10:39~11:15

### 未破裂動脈瘤 2

座長 山田 弘

- B-12) 未破裂脳動脈瘤のサイズの変化—増大した3例の検討  
 福井総合病院 脳神経外科、福井医科大学 脳神経外科  
 ○辻 哲朗、上田佳史、古林秀則、久保田紀彦
- B-13) 診断困難であった破裂嚢状小動脈瘤の3例  
 市立枚方市民病院 脳神経外科  
 ○志熊道夫、柳川伸子、稲多正充、児玉隆浩
- B-14) 3D-CTA および MRA にて前交通動脈動脈瘤が疑われた2症例  
 香川医科大学 脳神経外科  
 ○國塩勝三、川西正彦、藤沢睦夫、松本義人、河井信行、小川智也、  
 入江恵子、本間 温、長尾省吾
- B-15) 脳ドックで正常と判断され、約2年後クモ膜下出血を来した破裂脳動脈瘤の1例  
 大分市医師会立アルメイダ病院 脳神経外科  
 ○佐藤智彦、田島 篤、郭 忠之、永井康之

14:30~15:24

### 高次脳機能

座長 橋本信夫

- B-16) P300の経年変化と認知機能との関連について  
 島根医科大学 第三内科  
 ○山形真吾、豊田元哉、山口修平、小林祥泰

B-17) 事象関連電位 P3 潜時に対する無症候性脳病変の影響

島根医科大学 第三内科

○豊田元哉、山口修平、須山信夫、土谷治久、山形真吾、小林祥泰

B-18) 脳ドック受診者における無症候性脳梗塞の頻度と大脳高次機能との関連

大分医科大学 脳神経外科、大分市医師会市立アルメイダ病院

脳神経外科\*、大分県地域成人病検診センター\*\*

○下村 剛、森 照明、佐藤智彦\*、田島 篤\*、郭 忠之\*、永井康之\*、  
吉川 暉\*\*、国広 潔\*\*、谷口邦子\*\*

B-19) 脳検診外来受診者における高次脳機能について (続報)

北里大学東病院 精神科、北里大学東病院 総合相談部\*

○大谷義夫、吉田芳子、井沢志名野、小林一弘、石川正博、村崎光邦、  
植松美帆\*、青木佐奈枝\*、北島正人\*、福山嘉綱\*

B-20) 無症候性脳梗塞と高次脳機能について

岩手医科大学 脳神経外科

○鈴木 豪、鈴木倫保、小笠原邦昭、土肥 守、小川 彰

B-21) パソコンを用いたWisconsin Card Sorting Test (Keiko Version) の検討

—正常対象者、脳梗塞患者における検討—

福岡大学病院リハビリテーション部、福岡大学医学部内科・健康管理学\*、  
福岡徳州会病院 リハビリテーション科\*\*

○薛 克良、岩崎敬雄、安部博史\*\*、亀井博之\*、西丸雄也\*、貞島博道\*\*、  
土井 静\*\*、福永真哉

15:24~16:00

## 検査法 1

座長 宮坂和男

B-22) 無症候性脳梗塞例における主幹動脈病変の検討

東海大学 神経内科、山中湖クリニック\*

○高橋若生、高木繁治、篠原幸人、藤井博史、安田聖栄\*、井出 満\*、  
正津 晃\*

B-23) 頭頸部動脈狭窄病変の評価と治療

(助)脳神経疾患研究所附属南東北病院 脳神経外科

○小泉仁一、渡辺一夫



B-24) 椎骨動脈基起始部における超音波による血流測定と3次元カラーパワーアン  
ジオによる評価

那須野が原菅間病院 脳神経外科

○中岡 勤

B-25) 脳ドック陽性例に対する modified Simmonds 法

土浦協同病院 脳神経外科

○重田恵吾、橋本邦雄、山崎信吾、田畑 均

16:00~16:27

## 検査法 2

座長 藤原 悟

B-26) 未破裂脳動脈瘤の二次精査法としての同期型 MRA の有用性

りんくう総合医療センター 市立泉佐野病院 脳神経外科

○伊藤 守、大森一美、山中一好、田村和義

B-27) 未破裂脳動脈瘤に対する二次検査としての 3D-CT Angiography の役割

社会保険広島市民病院 脳神経外科

○西野繁樹、上利 崇、坪井俊之、今岡 充、塩田知己、浅野 拓、  
真鍋武聰

B-28) 3D-CTAによる頭蓋底静脈描出能の検討

セコメデック病院 脳神経外科、昭和大学 脳神経外科\*

○鈴木泰篤、国井紀彦\*、小沢宏史\*、松本 清\*

## 第2日：6月25日(金)

### ●A会場

9:00~11:10

#### シンポジウム4 脳ドックで発見された病変の治療 座長 河瀬 斌・赫 彰郎

- A-18) 脳ドック発見された未破裂動脈瘤の治療方針  
藤田保健衛生大学 脳神経外科  
○加藤庸子、佐野公俊、長久伸也、入谷克巳、金岡成益、神野哲夫
- A-19) 脳ドックで発見された未破裂脳動脈瘤の治療成績  
—瘤内塞栓術とクリッピング術の比較—  
金沢大学 脳神経外科  
○木多真也、内山尚之、野村素弘、山下純宏
- A-20) 脳ドック未破裂脳動脈瘤に対する脳動脈瘤塞栓術の位置付けについて  
北斗病院  
○井出 渉、山口日出志、橋本郁朗、佐土根 朗、松本明彦、池田政彦、  
田村康夫、鎌田 一
- A-21) 未破裂脳動脈瘤に対する直達手術と血管内手術の役割  
久留米大学 脳神経外科  
○大倉章生、広畑 優、盛満人之、内門久明、徳富孝志、重森 稔
- A-22) 未破裂脳動脈瘤の手術成績  
国立仙台病院脳卒中センター 脳神経外科  
○桜井芳明、荒井啓晶、西野晶子、上之原広司、鈴木晋介
- A-23) 無症候性未破裂脳動脈瘤の直達手術成績  
新さっぽろ脳神経外科病院  
札幌医科大学 脳神経外科\*  
○山村明範、高山和浩、井上道夫、橋本祐治、藤重正人、中川俊男、  
端 和夫\*
- A-24) 高齢者未破裂脳動脈瘤の治療における問題点  
北野病院 神経センター 脳神経外科  
○高瀬卓志、石川正恒、岩崎孝一、西 正吾、堀川文彦、高木康志、  
野島邦治、香月教寿

A-25) 脳ドックで発見された病変の治療  
—外科的治療の対象疾患について—  
広南病院 脳神経外科、東北大学 脳神経外科\*

○長嶺義秀、藤原 悟、吉本高志\*

A-26) 脳ドックで発見された脳腫瘍の治療と管理  
宇部興産中央病院 脳神経外科

○黒川 泰、阿美古征生、池田典生、岡村知實、出口 誠、渡辺浩策

A-27) Venous Angioma (VA) 48 症例における合併疾患  
那須野が原菅間病院 脳神経外科、埼玉脳神経外科病院\*

○中岡 勤\*、松浦 浩

11:10~11:55

**特別講演 3**

座長 児玉南海雄

脳ドックの経済・不経済

田辺 功 (朝日新聞社)

11:55~12:25

**教育講演 2**

座長 伊藤治英

最新の MR 撮像法

滝沢 修 (シーメンス旭メデイテック)

12:25~12:30

**閉会の辞**

会長 太田富雄

## ●B会場

9:00~11:00

シンポジウム5 脳卒中ハイリスク群の脳ドック 座長 福井仁士・秋口一郎

- B-29) 70歳以上の脳ドック受診者の問題点  
神戸大学医学部 脳神経外科、淀川キリスト教病院 脳神経外科\*  
○山下晴央、朝田雅博\*、江原一雅、玉木紀彦
- B-30) 無症候性脳梗塞の発現とライフスタイル要因  
—中・高齢層間での比較—  
東京慈恵会医科大学健康医学センター  
聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター\*  
○豊原敬三、和田高士、池田義雄、下條貞友\*
- B-31) 脳ドック受診者における生活習慣病と無症候性脳梗塞の関係  
日鋼記念病院 脳神経外科  
○宮町敬吉、北川道生、田丸伸一
- B-32) 脳ドックで発見された頭蓋内主幹動脈病変の危険因子についての検討  
秋田県立脳血管研究センター 神経内科学研究部、  
脳神経外科学研究部\*、疫学研究部\*\*  
○佐藤雄一、安井信之\*、鈴木一夫\*\*
- B-33) 脳動脈瘤発現に関する危険因子について  
—脳ドックで発見された未破裂脳動脈瘤症例からの検討—  
淀川キリスト教病院 健康管理増進センター、脳神経外科\*  
○田中真里、葛場美那、山田重信、朝田雅博\*
- B-34) 脳ドックの発見病変と各種脳卒中危険因子との関係  
社会保険中央総合病院 脳神経外科、放射線科\*  
社会保険下関厚生病院 神経内科\*\*、社会保険中京病院 神経内科\*\*\*  
○佐藤嘉伯、古場群己、武田泰明、牧田幸三\*、太田純夫\*\*、陸 重雄\*\*\*
- B-35) 脳ドックにおける白質病変に対する危険因子の検討  
社会保険広島市民病院 脳神経外科  
○西野繁樹、上利 崇、坪井俊之、今岡 充、塩田知己、浅野 拓、  
真鍋武聰
- B-36) 脳動脈瘤患者の遺伝子解析 —PKD 1 gene 異常検索の有用性—  
札幌医科大学医学部 脳神経外科  
○本望 修、秋山幸功、上出廷治、端 和夫

B-37) 脳卒中ハイリスク群としての platelet-activating-factor acetylhydrolase (PAF-A)  
欠損症の意義

横浜総合病院 脳神経外科、弘前大学医学部 脳研病態生理\*

○平元 周、吉水信裕、佐藤 敬\*